

シーバードJAPANカレッジ 2024

報告書

本事業は2020年度より、シーバードJAPAN拠点に所属する隊員の勉強会と位置づけ、マリンレジャー、スポーツに関するコンテンツに加え、人としての成長に役立つ内容を意図し積み重ねてまいりました。

シーバードJAPANカレッジとしては、初めての1会場開催とし全拠点に出席を募った結果、北海道から鹿児島まで32拠点、41名の隊員の出席がありました。シーバード本部より活動総括、2025年度の方針説明を皮切りに、二日間にわたって安全に役立つ情報とシーバードJAPANの中期展開を視野に入れた構成として、隊員からは実り多い二日間との評価をいただきました。

(ご来賓)
海上保安庁交通部安全対策課（大井良司課長 全4名様）
第七管区海上保安本部（真部克彦交通部長 全4名様）
福岡海上保安部（高橋謙慈交通課長 全3名様）
(一財) 日本海洋レジャー安全・振興協会（江口 満理事長）

*協力：ミス日本協会
2024ミス日本「海の日」の有馬佳奈さんに司会進行を務めていただきました。

開催日 2024年11月28日(木) 開会14:00-17:30閉会予定
11月29日(金) 開会9:30-12:00

会 場 明治安田ホール福岡
〒810-0801福岡市博多区中洲5丁目6-20 明治安田生命福岡ビル1階

主 催 シーバードジャパン(NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会)
共 催 公益財団法人 日本財団
協 力 海上保安庁 交通部／第七管区海上保安本部／福岡海上保安部
ミス日本協会 司会進行 2024年ミス日本「海の日」有馬佳奈



シーバードJAPANカレッジ 2024

プログラム

〈1日目〉11月28日(木)

14:00	開会	2024ミス日本「海の日」	有馬 佳奈
	主催団体紹介		
	来賓 ご紹介		
開会 挨拶	NPO法人/パーソナルウォータークラフト安全協会会長/シーバードJAPAN代表	竹長 潤	
来賓 ご挨拶	海上保安庁 交通部安全対策課 課長	大井 良司 様	
来賓 ご挨拶	(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会 理事長 (公財)日本ライフセービング協会顧問	江口 満 様	
シーバードJAPAN2024年度活動報告 2025年度活動方針	NPO法人/パーソナルウォータークラフト安全協会会長/シーバードJAPAN代表	竹長 潤	
	休 憩		
講演 水上オートバイを用いた救助技術の今とこれから	(一社)ウォーターリスクマネジメント協会 理事長	今西 浮樹 様	
シーバード拠点活動報告【1】	シーバード福岡 代表	門谷 千秋 様	
【2】	シーバード釜石 隊員	金野 有紗 様	
シーバード2025年度事業提案	シーバードサーフ90藤沢 代表	佐藤 謙 様	
17:30	記念撮影/閉会		

〈2日目〉11月29日(金)

9:30	開会	有馬 佳奈
	講演1 海難事故の最新状況と対策	海上保安庁 交通部安全対策課 海難防止対策官 丸山 茂平 様
	講演2 ココヘリマリン導入に向けた実証報告と今後の展望	AUTHENTIC JAPAN株式会社 加藤 崇 様
	休 憩	
	講演3 PWCエキスパートガイドMAPについて 概要と今後の展開	合同会社TPSP代表 長谷川 辰 様
	講演4 クラウドファンディングの現在	株式会社Prodotto代表 熊澤 陽香 様
11:45	閉会 挨拶	NPO法人/パーソナルウォータークラフト安全協会会長/シーバードJAPAN代表 竹長 潤

シーバードJAPANカレッジ 2024

出席一覧

シーバード拠点・隊員一覧は次頁

来賓

敬称略

海上保安庁 交通部 安全対策課

課長 大井良司
海難防止対策官 丸山 恭平
主席海難調査官 今井 征司
マリンレジャー安全対策係 田口 遥
第七管区海上保安本部
交通部長 真部 克彦
交通部 安全対策課長 西山 巍
安全対策課 安全対策第一係長 足立 義友
安全対策第三係 谷山 隆
福岡海上保安部
交通課長 高橋 謙慈
安全対策係長 村上 靖太郎
地域海難防止対策官 横尾 太郎

(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会 理事長

(公財)日本ライフセービング協会 顧問

江口 満

講演者

オーセンティックジャパン株式会社 加藤 宗

合同会社 TPSP 代表 長谷川 辰

Prodotto株式会社 代表 熊澤 陽香

一社)ウォーターリスクマネジメント協会 理事長 今西淳樹

主催

NPO法人 パーソナルウォータクラフト安全協会

会長 竹長 潤
副会長 三好 弘哲
副会長 平澤 一寿
副会長 船倉 嘉一郎
九州地方本部長 伊藤 敬一
東北地方本部長 小原 聰一郎
九州地方本部 事務局長 藤井 明
中部地方本部事務局長 安藤 秀明
関西地方本部事務局長 瀬戸 彩花
本部事務局長 高山 浩明
本部事務局オブザーバー 小林 直人

シーバード構成団体

NPO法人 日本青バイ隊 理事長

理事長 山口 富士夫
事務局長 坂口 亜紀

一社)ウォーターリスクマネジメント協会

理事長 今西淳樹

一社)ミス日本協会

和田優子

2024ミス日本「海の日」 有馬佳奈 *司会進行

協力団体

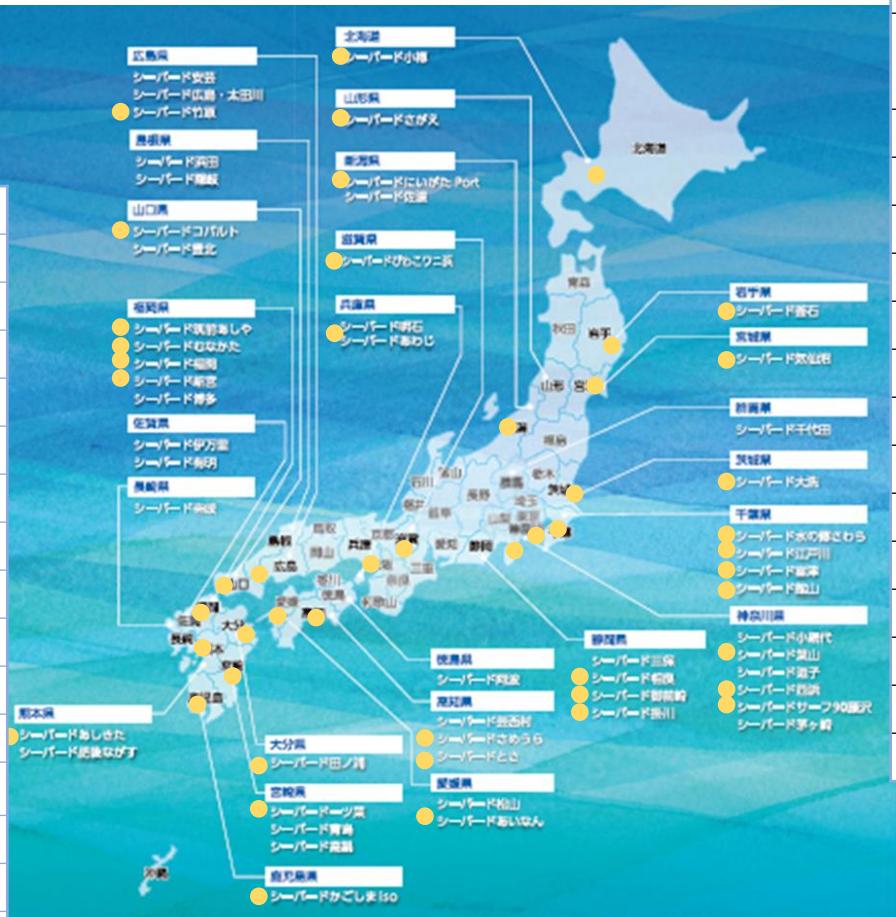
日本財団調査チーム

シーバードJAPANカレッジ 2024

出席拠点・隊員一覧

北海道から鹿児島から
32拠点 41名(男子35 女子6)

17	滋賀県	シーバード びわこワニ浜	川田学美	
18	兵庫県	シーバード あわじ	節和 香	
19	広島県	シーバード 竹原	山村道信	中田善方
20	山口県	シーバード コバルト	新名文博	柴田想太
21	高知県	シーバード さめうら	辻村幸生	
22		シーバード とさ	中澤辰志	吉末達弘
23	愛媛県	シーバード あいなん	清水良一	
24	福岡県	シーバード 筑前あしや	東 克之	
25		シーバード むなかた	小野義明	北條大助
26		シーバード 新宮	田原幸佑	
27		シーバード 福間	車 康二朗	活動発表
	熊本県		門谷千秋	
28		シーバード 肥後ながす	嶋田正忠	
29		シーバード あしきた	松本祐輔	
30	大分県	シーバード 田ノ浦	尾田智史	
31	宮崎県	シーバード ーツ葉	尾崎慎司	
32	鹿児島県	シーバード かごしま iso	濱 一洋	



1	北海道	シーバード 小樽	大平拓司	
2	岩手県	シーバード 釜石	金野有紗	活動発表
			佐々木良衡	
3	宮城県	シーバード 気仙沼	高橋紀久	ノリヒコ
4	山形県	シーバード さがえ	丹野浩之	鈴木信也
5	新潟県	シーバード にいがたPort	星野幸男	
6	茨城県	シーバード 大洗	飯田英樹	福田東一郎
7	千葉県	シーバード 水の郷さわら	石川浩史	
8		シーバード 館山	辰野方哉	
9		シーバード 富津	古賀健一郎	古賀清美
10		シーバード 江戸川	鈴木英之	
11	神奈川県	シーバード 葉山	加藤智美	
12		シーバード サーフ90藤沢	佐藤 譲	活動提案
13		シーバード 西浜	石井 誠	
14	静岡県	シーバード 掛川	増田一樹	
15		シーバード 相良	福島 稔	
16		シーバード 御前崎	増田洋樹	

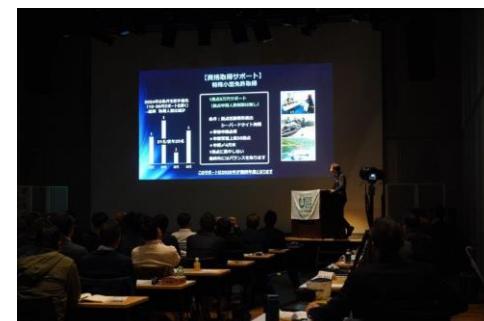
シーバードJAPANカレッジ 2024

主催者挨拶

2024年報告と2025年度基本方針



シーバードJAPAN代表
NPO法人パーソナルウォータクラフト安全協会会長
竹長 潤



ご来賓 挨拶



海上保安庁交通部安全対策課 課長
大井良司 様

ご来賓 挨拶



(一財) 日本海洋レジャー安全・振興協会
(公財) 日本ライフセービング協会 顧問
江口 満 様

理事長

司会進行



2024ミス日本「海の日」の有馬佳奈さん

シーバードJAPANカレッジ 2024

講演 / 発表プログラム

1日目 11月28日(木)

ウォーターリスクマネジメント協会 理事長
今西 淳樹 氏

『水上オートバイを用いた救助技術の今とこれから』

活動報告
シーバード福間（福岡県） 車 康二朗 氏

『ふくつ子どもビーチフェスティバル
シーバードデー2024』

活動報告
シーバード釜石（岩手県） 金野 有紗 氏

『海遊びワンデイキャンプ × シーバードデイ』

2025年度活動提案
シーバードサーフ90藤沢（神奈川県） 佐藤 譲 氏

『第1回シーバードジャパンPWC技術交換会』

2日目 11月29日(金)

海上保安庁交通部 安全対策課 海難防止対策官
丸山 恭平 様

『マリンレジャーの現状と安全対策について』

オーセンティックジャパン株式会社
加藤 宗 様

『シーバードジャパンと作る未来
水難者早期救助の仕組みを日本全国へ』

合同会社TPSP
長谷川 辰 様

『PWCエキスパートガイドMAPについて 概要と展開』

Prodotto.株式会社 代表 熊澤 陽香 様

『クラウドファンディングの現在』

シーバードJAPANカレッジ 2024

講演1日目11/28

ウォーターリスクマネジメント協会 理事長

今西 淳樹 氏

『水上オートバイを用いた救助技術の今とこれから』



一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会 WRMA

◎水上オートバイレスキュー法 普及のあゆみ

(一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会)

◆これまでの15年 これからの15年



シーバード釜石（岩手県） 金野 有紗 氏
『海遊びワンデイキャンプ × シーバードデイ』



シーバード福間（福岡県） 車 康二朗 氏

『ふくつ子どもビーチフェスティバルシーバードデー2024』

後援 福津市

協力 福岡海上保安部
福岡消防本部福津消防署
福岡県立水産高校
福間サンセットビーチセーフティクラブ
トヨタ自動車九州
連島信用金庫
ふくつFUN イナワフォトスタジオ
J-SPACE あそぼーアート
うみすじ33 4 SEAGULLINN



ふくつ子どもビーチフェスティバル
シーバードデー2024



2024年7月28日
一般社団法人 水辺フィットネス協会

2025年度活動提案

シーバードサーフ90藤沢（神奈川県） 佐藤 謙 氏

『第1回シーバードジャパンPWC技術交換会』

提案の主旨

PWCを用いた

最新のレスキュー技術を習得しよう。

PWCを常に良好な状態に維持しよう。

シーバードJAPANカレッジ 2024

講演2日目11/29

海上保安庁交通部 安全対策課 海難防止対策官
丸山 恒平 様
『マリンレジャーの現状と安全対策について』

【目 次】

JCG 海上保安庁

1 マリンレジャーの海難の現状

（1）船舶事故の現状

（2）マリンレジャーに伴う人身事故の現状

2 現状を踏まえた安全対策

（1）ウォーターセーフティガイドについて

（2）シーバードジャパンとの連携について

シーバードジャパンと作りたい未来
水難者を早期救助する仕組みを日本全国へ



①発信機：隊員活動時に持参
携帯・受信機での安全管理

②受信機：ココヘリマリン会員の遭難時
救助要請への体制・仕組みの構築
出動に関して日当支払するなど



オーセンティックジャパン株式会社

加藤 宗 様

『シーバードジャパンと作りたい未来
水難者早期救助の仕組みを日本全国へ』

合同会社TPSP 長谷川 辰 様

『PWCエキスパートガイドMAPについて 概要と展開』

TPSP

●TPSPの活動

・TPSP東京安全講習会

水上バイクユーザーに対し、東京港・湾・河川における安全航行への心構えやルール・マナーの遵守徹底のため、安全講習会を開催。

また、安全講習会を受講し、その趣旨と目的に賛同し、TPSP東京会員として水上バイクの安全航行とルールおよびマナー遵守に努めることを誓約していただいた方に、修了証を発行。



修了証の発行後に
■ ビブス購入またはレンタル
■ ビブスを着用していないと
利用できない施設がある。
東京夢の島マリーナは
ビジター利用、給油がNG。

Prodotto.株式会社 代表 熊澤 陽香 様
『クラウドファンディングの現在』

テーマ

1. クラウドファンディングとは
2. 資金の集め方
3. 支援者/購入者のメリット
4. 海をテーマとしたプロジェクト
5. 【想い】に共感してくれる仲間を集める
6. 今日からできること



2024年報告（抜粋）

シーバードJAPAN代表

NPO法人パーソナルウォータクラフト安全協会会長
竹長 潤

シーバードJAPANカレッジ 2024

2024年度活動抜粋

・エリア別 拠点体制



・人材育成サポート

特殊小型操縦士免許取得支援（受講料サポート）

活用拠点 20/53

20拠点21名が取得 平均年齢28.2歳 最年少16歳（一ツ葉）
10代/20代 13名



拠点名	人数	拠点名	人数
小樽	1	御前崎	1
釜石	1	びわこ二浜	1
気仙沼	1	コバルト	1
にいがたPort	1	さめうら	1
富津	1	あいなん	1
江戸川	1	とさ	1
掛川	1	むなかた	1
葉山	1	伊万里	2
西浜	1	田ノ浦	1
相良	1	一ツ葉	1

・シーバードDAY

実施拠点 35/53

35拠点開催/開催回数68回
参加者総数2,450名（うち子供達の参加1,224名）
コア開催会場（シーバード福間・シーバード伊万里）



・全国各拠点活動

日本最大のマリンイベント出展と協力

* ジャパンインターナショナルボートショー2024



Water Safety
Village出展

第三管区海上保安本部と合同
救難救助デモ実施

地域コアマリンイベント/行政連携出展

* 関西ボートショー・フローティングボートショー

* みなとまつり神戸/マリンカーニバル

* 九州ボートショー



各イベント会場にて行政・自治体連携の上出展
シーバード艇をアイキャッチ・活動紹介

メディア対象露出展開

* UMI協議会 マリン体験イベント

* ラジオ番組 シーバードジャパン紹介



メディア対象イベント「海イコ」マリン体験乗船会

2025年度基本方針（抜粋）

シーバードJAPAN代表

NPO法人パーソナルウォータクラフト安全協会会長
竹長 潤

2025 基本方針

SEA BIRD JAPAN
水辺を楽しむすべての人のために

強い想い&行動

強い心と力が命をつなぐ

シーバードDAY開催サポート

原点：拠点として取り組み易く
安心安全/予防の観点を

1. 開催日はフリー選択（各拠点ベストの日を選択）
2. 実施コンテンツ：子供達への安心・安全啓発メニュー必須織り込み
- 3.『エントリー』：開催写真・レポート必須
画像提供：『参加者：子供さんの笑顔』
4. サポート額 5万円

5. コア開催拠点決定 東西2拠点
開催経費補填（上限アリ）
ミス日本協会様協力：ミス日本の方々の当日運営サポート



水難救済会『救難所』登録の推進

救難所 全国に約800箇所・登録者5万名
年々高齢化、年間350-400名が毎年減少
シーバードジャパン拠点の救難所登録は基本歓迎
水上オートバイの機敏性が有効であることは認識

- メリット
- * 公的救難機関“場”的認知
- * 救難機材供与（活動に必要な備品関係）
- * 訓練実施費用・救助出動手当
- * 会費要→活動時傷害保険対応
- 義務
- * 要救助要請時の出動（可能な範囲）
- * 年会費要 ※保険



【PWC技術講習会】

配備艇10年 各社モデルも進化
最新技術・伴ランゲン方法含めて学ぶ必要性あり

追加配備/厳しい状況下・
現艇の最適なメンテによる中長期使用を見据えて

2025年：テストスタート/関東にて開催

継続：全国展開化へ
YouTube配信

- * 使用後の基本ケア
- * 年次メンテナンス
- * 冬季/長期保管メンテ
- * 運用上の注意（適切な取り扱い・異常の早期発見）



＜特別編＞子供用ライフジャケット提供

水辺で楽しむ子供たちにライフジャケット着用を

1拠点上限20着
12月20日までに本部申請ください
在庫無くなり次第終了
1月中に各拠点配達

ご提供：AUTHENTIC JAPAN（株）様



！船舶検査用 型式承認『桜マーク』製品ではありません

予告

シーバードジャパンフォーラム開催

主に人材育成を目的としたシーバードジャパンカレッジは
その役目を一応終えたとして**2024年**をもって終了
新たに来年はシーバードジャパンフォーラムを開催予定

開催時期：2025年11月
開催会場：東西2か所

開催内容：

- ◆基幹情報の提供
- ◆シーバードジャパン事業総括
- ◆次なる展開・進化の道筋
- ◆新たな事業展開・新しい枠組説明

